

マラウイ通信

渡邊拓人 17-2
行政サービス
ドーワ県立病院

【ザレカ清掃作業】 Dzaleka Refugee Camp (ザレカ難民キャンプ) 度々登場するザレカ難民キャンプですが、皆さん覚えていますか？最近では約3万人もの難民が生活を余儀なくされていると言われており、大学の研究等で訪れる邦人を案内する事も、私の役目の一つようになってきました。個人的にも頻繁に訪れますし、多くの友人(他国団体)が活動したり生活しています。今回は友人の一人でもあり、この難民キャンプで学校建設を手掛けているコスタリカ人のボランティアによる呼びかけを受けて、難民キャンプ内の排水路の清掃を行いました。



ヘドロやビニールが主に詰まって、排水をせき止めてました。



泥だらけになりながら、みんなで協力しての作業に励みました。



総勢約40名で約500mの排水口を掃除しました。参加者は私を含め様々な国籍であり、人と人の中にはボーダーなど無い事を改めて感じました。なんとこの出来事はコスタリカのメディアに大きく取り上げられ、コスタリカでは一番有名な新聞の一面に掲載されました。スペイン語ですので何が書いてあるかは分かりませんが、一応私も写真の一部として中米デビューしました。



【川で洗濯】「川で洗濯」と言えば、日本昔話の桃太郎を連想しますが、マラウイでは今でも川で洗濯する事も日常です。家の近くに川が流れている住民にとっては、生活に欠かせない存在のひとつ。しかし、マラウイの川は日本の川のように透き通った水とはお世辞にも言えません。まるで雨の日の様に濁った川ばかりです。それでも不安定な水事情の中では、大いに生活を助けてくれます。



【グラウンドナッツ】日本でも落花生は身近に感じる食べ物ですね。私が住んでいるドーワ県はこのグラウンドナッツも主な農作物の一つで、そこら中に沢山の畑があります。道端では手のひら一杯の量が15円ほどで売られており、調理済ですので、小腹が空いたときなどにいつも食しております。知人の畑では子供達も収穫の手伝いをしており、この日は大量のグラウンドナッツをいただきました。



【後記】未だ選挙騒ぎは収まっておらず、各地でデモ等が繰り広げられています。マラウイ人が言うには、これらは平和なデモだそうですが、実際に警官隊と衝突している時点で、私にとっては十分荒れている様子に見えます。大事にならない事を願います。さて、最近では空手を教している子供達の熱に負け、活動が終わった後に毎日空手を教える日々。赤土の上で稽古をするせいで、足が赤土色に染まってしまうそうです。空手を教える中で、時間に遅れない事や、礼儀を重んじる事、掃除をする事、集中力をキープする事、また学校に通っていない子供達までもが、欠かさず練習には参加する事など、スポーツを通して子供達が学ぶべき事は多く、それが子供達の将来の為の一つにでもなればと思います。